

地域学校協働活動事業訪問

【大玉中学校 学校運営協議会】

～第3回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会～

訪問日：令和2年9月4日（金）

場 所：大玉村立大玉中学校

内 容：全体会「令和2年度の学校運営について」
グループ協議「本校の教育活動について」

9月4日（金）、大玉中学校学校運営協議会～第3回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会～が開催されました。この協議会に先がけて、「おおたま学園オープンスクール」において授業及び分科会が公開されました。おおたま学園コミュニティ・スクール委員（以下CS委員）の皆様は参観した内容を踏まえて協議会に参加します。

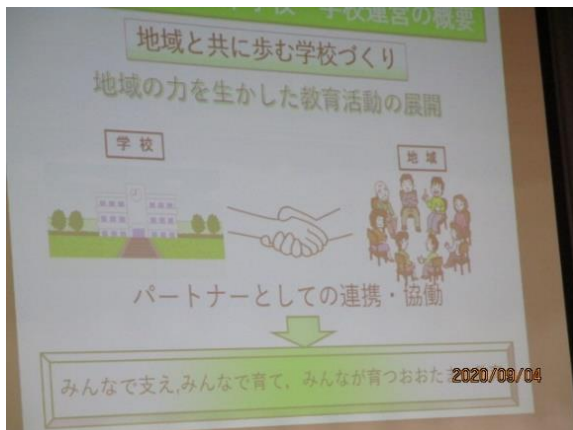
このようなプログラムを構成することで教育活動への理解並びに学校評価機能の充実が図られています。

全体会

オープンスクールでは、今年度の大玉中学校の研究主題である「自ら課題を発見し、解決に向けて主体的に取り組む生徒の育成」を目指し、様々な工夫を凝らした授業が公開されました。今年度から教育委員による学校訪問をオープンスクール訪問に代えて、各学校の先生方、CS委員の方々とともに子ども達の真剣な学びの姿を参観しました。



全体会の様子



学校運営の概要説明

続いて体育館を会場とし、学校運営協議会が開催されました。

初めに安田校長先生による学校運営の概要説明です。一人一人の生徒にどのような資質・能力を育てていくかわかりやすくお話しいただきました。「みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ 大玉の教育」のスローガンのもと、地域と共に歩む学校づくりとは何か、全体で改めて振り返る機会となりました。

グループ協議「熟議」

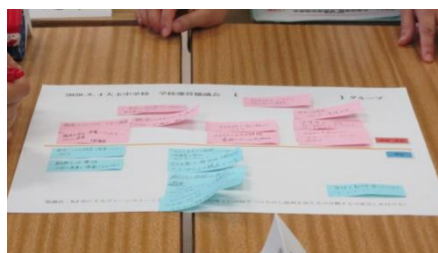
続いて、グループ協議「本校の教育活動について」です。

本日参加の29名が5班に分かれ、各教室においてそれぞれ与えられた以下のテーマについて協議を行いました。

- 「学習サイクルの確立と自主学習の質の向上」
- 「メディア・リテラシーの推進と家庭との連携」
- 「望ましい生活習慣の確立」
- 「地域の力を生かした教育活動の展開」
- 「資質・能力の育成」

これらのテーマは大玉中学校の「学校経営・運営ビジョン 令和2年度重点事項」から、生徒の実態を踏まえて設定されています。

班ごとのテーマについて各自付箋紙に記入し、シートに貼りながら考えをまとめていきました。まとめていく過程で課題の本質に迫る真剣な議論が交わされました。



付箋紙によるまとめ



熱心なグループ協議「熟議」

内容の一端を紹介します。

- 1班・・・親子の会話の重要性、村事業の中3生対象おおたま未来塾の対象学年拡大
- 2班・・・子どものメディア利用の実態、スマホ利用の約束
- 3班・・・朝食の見直し、汁物の効果
- 4班・・・挨拶の重要性、社交性を育むために
- 5班・・・学力向上と愛村心、社会的スキル

この後体育館に場所を移し、全体会での発表で共有化を図りました。

参加者の声

- おおたま学園構想により、学校と家庭、地域の結びつき・つながりが大変強くなりました。地域の活性化にもつながっています。10～20年後の大玉村を見据えて、村全体で子どもを育てていきます。

(大玉村教育委員会：教育委員)

- 地域と学校の距離感が、とても近く感じます。学校としてやりたいことが地域の方々の協力で実現していくと、教職員、地域の方々双方のやりがいにつながっていると思います。幼・小・中一貫したおおたま学園というコミュニティ・スクール制度のおかげで、発達段階に応じて主体的に地域に学ぶ子どもの育ちが見られます。

(大玉中学校：地域連携担当教職員)

- CS委員会の最大のメリットは、子どもの教育に関わる学校、地域の方々一堂に会し、学校・地域双方の要望を出し合うことにあります。地域としては、「学校にあてにされている」ということ自体が大きなやりがいになっています。コロナ禍にある今だからこそCS本来の力を発揮し、ピンチをチャンスに変えて行きたいと思います。

(おおたま学園CS委員会：副会長)

参観を終えて

CS委員会では地域の方々が多様な意見を大切にしながらも、村として何を大切にしているか、子ども達に何を学ばせるべきか、まさに「みんなで支え、みんなで育て」している姿が見られました。地域・学校双方が「教育活動の当事者」となっていることが感じられました。